

より良い有田市をめざして ～ 備え～



有田市にとって有史以来最大の被害を被った7・18水害から今年で67年目を迎え、今を生きる私たちはコロナ禍という災害に見舞われながらも、新しい日常をめざし努力を続けています。

今年の七夕飾りの短冊には、「除災招福」、「コロナ終息」などの願いが多く記されていると思いますが、自粛解除となった今だからこそ、心を合わせ感染予防への正しい行動を続けていくことが必要です。

さて、災害から自らの命を守るためには、事前の非常持ち出し品の準備や避難場所の確認など、日々の備えが重要であることは言うまでもありません。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、ソーシャルディスタンスをはじめとした新しい生活様式が推奨され、避難場所等での感染リスクの軽減も考えていかなければなりません。

そのような中、先の有田市議会6月定例会において、災害時の感染防止対策等に係る防災用備品購入のための予算を承認いただきました。今後起こりうる有事に対し、市民の安心安全を守るため、また、第2波に備えるため、しっかりと感染防止対策を図ってまいります。

また、今年のインフルエンザ患者数の少なさは日々の手洗い予防等によるものであるといわれており、ウイルスに対する意識を高く持ち、細心の注意を払いながら行動することが重要です。雨による災害が発生しやすい季節を迎えましたが、市民の皆さま方には自分の命を守ることに考え、しっかり備えていただくとともに、今一度手洗い、マスクの着用等、高い意識をもって行動することへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

次代を担う方々が、「恋愛成就」「良縁祈願」などコロナとは別のことを来年は書けますように、有田の川にかかる橋から祈りつつ、日々邁進してまいります。

有田市長 望月 良男

令和2年度紀文まつり 中止のお知らせ

この度、紀文まつり実行委員会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、ご来場者様及びご出演関係者様の健康と安全を考慮した結果、誠に残念ながら令和2年度開催予定の紀文まつりの中止を決定いたしました。

紀文まつりは市民参加型のまつりであり、市内外からの約3万6,000人の参加者の方々に感染するリスクがあることや、市民の皆様をはじめ、多くの企業様からのご協賛に支えられ運営していることから、今年の状況でそのご負担をおかけすることはできないと考え、今回の判断に至りました。

当実行委員会といたしましては、感染拡大が一日でも早く終息し、皆様に安心安全な日常が戻ることを祈り、令和3年度はより多くの方に楽しんでいただける紀文まつりを開催できるよう準備を進めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問 紀文まつり実行委員会 TEL 83-1111

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望を秘書広報課へお寄せください。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インキを使用しています。